



## 平成29年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月14日

上場会社名 IMV株式会社  
コード番号 7760 URL <http://www.imv.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小嶋 淳平

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画本部長 (氏名) 濱里 一也

TEL 06-6478-2565

定時株主総会開催予定日 平成29年12月22日 配当支払開始予定日

平成29年12月25日

有価証券報告書提出予定日 平成29年12月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年9月期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期	10,898	5.0	1,158	7.3	1,389	45.5	942	61.7
28年9月期	10,374	13.1	1,080	△21.6	954	△31.8	583	△35.4

(注) 包括利益 29年9月期 941百万円 (47.3%) 28年9月期 638百万円 (△29.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
29年9月期	58.02	—	17.3	11.2	10.6
28年9月期	35.68	—	12.1	8.4	10.4

(参考) 持分法投資損益 29年9月期 一百万円 28年9月期 一百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期	13,116	5,996	44.6	360.85
28年9月期	11,649	5,072	43.5	310.37

(参考) 自己資本 29年9月期 5,848百万円 28年9月期 5,072百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
29年9月期	1,201	△696	△235	1,757
28年9月期	784	△126	△566	1,444

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
28年9月期	—	0.00	—	7.00	7.00	114	19.6	2.4
29年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00	162	17.2	2.9
30年9月期(予想)	—	0.00	—	7.50	7.50		15.6	

(注) 29年9月期期末配当金の内訳 普通配当 7円50銭 60周年記念配当 2円50銭

### 3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,800	0.3	600	△29.8	600	△37.3	390	△41.1	24.06
通期	11,500	5.5	1,200	3.5	1,200	△13.6	780	△17.3	48.12

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
 新規 1 社 (社名) 1G DYNAMICS LIMITED 、 除外 1 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期	16,957,016 株	28年9月期	16,957,016 株
② 期末自己株式数	29年9月期	748,430 株	28年9月期	614,788 株
③ 期中平均株式数	29年9月期	16,248,315 株	28年9月期	16,342,401 株

(参考)個別業績の概要

平成29年9月期の個別業績(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期	9,094	△3.1	1,073	88.3	1,290	152.1	902	422.9
28年9月期	9,387	4.9	570	△59.8	511	△65.4	172	△82.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期	55.54	—
28年9月期	10.56	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期	11,309	5,464	48.3	337.16
28年9月期	10,287	4,664	45.3	285.41

(参考) 自己資本 29年9月期 5,464百万円 28年9月期 4,664百万円

※ 決算短信は監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値その他の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項) .....	13
(追加情報) .....	13
(セグメント情報) .....	13
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13
4. その他 .....	14
(1) 役員の変動 .....	14
(2) 生産、受注及び販売の状況 .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用環境の改善を背景に個人消費は緩やかに回復し、企業の生産活動も持ち直してきている等、緩やかな回復基調が続いております。海外経済におきましては、欧州経済での地政学的リスク等による先行きに不透明さは残るものの、欧州では緩やかな景気回復が継続し、米国経済も緩やかな回復基調で推移しました。

このような環境の中、当社グループは、当社の主力製品であるiシリーズの後継機として開発・製品化した「ハイグレードタイプ振動試験装置Aシリーズ」及び低周波振動や微小振動を3軸同時に計測可能な「小型高性能振動計測装置」の積極的な販売活動を進めてまいりました。また、山梨県上野原市に開設した「東京テストラボ上野原サイト高度試験センター」において、顧客獲得のための設備投資を進めてまいりました。さらには、イギリスを中心としたヨーロッパ地域のみならず、全世界の顧客に対して、弊社主力商品である振動シミュレーションシステムに対するメンテナンスサービスを充実させることを目的として、1G DYNAMICS LIMITEDをイギリスに設立する等、様々な取組みを進めています。

以上の結果、当社グループの売上高は10,898百万円となり、前連結会計年度と比べ523百万円の増収(対前年同期比5.0%増)となりました。利益面では増収効果や円安による為替影響等により、経常利益は1,389百万円となり、前連結会計年度と比べ434百万円の増益(対前年同期比45.5%増)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は942百万円となり、前年同期と比べ359百万円の増益(対前年同期比61.7%増)となりました。

品目別の営業の概況は次のとおりであります。

#### (振動シミュレーションシステム)

振動シミュレーションシステムの分野におきましては、大型受注案件が減少したものの、自動車関連業界及び電機電子業界を中心に温湿度・振動複合環境シミュレーションシステムの売上が依然として順調であり、省エネ型振動シミュレーションシステムの売上也堅調に推移しました。

以上の結果、この品目の売上高は8,261百万円となり前連結会計年度と比べ265百万円の増収(対前年同期比3.3%増)となりました。

#### (テスト&ソリューションサービス)

テスト&ソリューションサービスの分野におきましては、東海地区における市場への新規参入企業があったことにより、名古屋テストラボにおいて売上が減少したものの、大阪テストラボ及び上野原テストラボの順調な稼働により前年同期を上回る結果となりました。

以上の結果、この品目の売上高は1,586百万円となり前連結会計年度と比べ157百万円の増収(対前年同期比11.0%増)となりました。

#### (メジャリングシステム)

メジャリングシステムの分野におきましては、フィリピン市場にて、高性能加速度センサモジュールを用いた地震監視計の売上が順調に推移し始めたのに加え、国内では、振動計測装置のOEM供給を始めたほか、電力会社向け高額案件等により、順調に売上が推移しました。その結果、前年同期を上回る結果となりました。

以上の結果、この品目の売上高は1,050百万円となり前連結会計年度と比べ101百万円の増収(対前年同期比10.7%増)となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## 資産

当連結会計年度末における資産は、前連結会計年度末と比べ1,466百万円増加し、13,116百万円(対前期末比12.6%増)となりました。流動資産は、前連結会計年度末と比べ865百万円増加し、8,190百万円(対前期末比11.8%増)となりました。この主な要因は、現金及び預金の増加325百万円及び受取手形及び売掛金の増加196百万円があったことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末と比べ600百万円増加し、4,926百万円(対前期末比13.9%増)となりました。この主な要因は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得によるのれんの増加310百万円及び建設仮勘定の増加129百万円があったことによるものであります。

## 負債

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末と比べ542百万円増加し、7,120百万円(対前期末比8.2%増)となりました。流動負債は、前連結会計年度末と比べ422百万円増加し、5,644百万円(対前期末比8.1%増)となりました。この主な要因は、電子記録債務の増加139百万円、支払手形及び買掛金の増加112百万円、未払法人税等の増加112百万円があったことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末と比べ120百万円増加し、1,475百万円(対前期末比8.9%増)となりました。この主な要因は、長期借入金の減少120百万円があったものの、その他固定負債の増加219百万円があったことによるものであります。

## 純資産

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末と比べ924百万円増加し、5,996百万円(対前期末比18.2%増)となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加828百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.1ポイント増加し44.6%となりました。1株当たり純資産は前連結会計年度末の310円37銭に対し、369円96銭となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,201百万円のキャッシュが増加(前連結会計年度は784百万円増加)しました。これは、税金等調整前当期純利益1,384百万円及び減価償却費376百万円等の資金の増加要因が、棚卸資産の増加235百万円等の資金の減少要因を上回ったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、696百万円のキャッシュが減少(前連結会計年度は126百万円減少)しました。これは主に有形固定資産の取得による支出582百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、235百万円のキャッシュが減少(前連結会計年度は566百万円減少)しました。これは主に長期借入金の返済による支出394百万円等の資金の減少要因が、長期借入れによる収入270百万円等の資金の増加要因を上回ったことによるものであります。

これらの活動の結果、現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末の1,444百万円から313百万円増加し、1,757百万円となりました。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成25年9月期	平成26年9月期	平成27年9月期	平成28年9月期	平成29年9月期
自己資本比率(%)	39.8	39.9	41.3	43.5	44.6
時価ベースの自己資本比率(%)	85.5	102.4	71.6	39.3	87.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	9.5	6.0	2.7	3.8	2.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	22.8	30.2	64.8	54.0	77.8

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※ キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、雇用や所得環境の改善傾向が続く中、緩やかな景気の回復は継続するものと期待されますが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動等、世界経済が下振れするリスクが存在しているとみられる状況であります。

このような状況の中、当社グループは、振動シミュレーションシステムにおいては、昨年度に引き続き、国内及び海外での売上は自動車関連業界を中心に順調に推移する予定であります。また、「ハイグレードタイプ振動試験装置Aシリーズ」の販売強化についても同様に、積極的に取り組んでまいります。

さらには、1G DYNAMICS LIMITEDの本格稼働により、全世界の顧客に対して、弊社主力商品である振動シミュレーションシステムに対するメンテナンスサービスを充実させる等、様々な取組みを進めています。

テスト&ソリューションサービスにおいては、サービスラインナップの拡充や振動技術の深堀にチャレンジする等、差別化に取り組む予定であります。

メジャリングシステムにおいては、高性能加速度センサモジュールを積極的に活用し、引き続き、社会インフラ事業にも貢献していきます。

一方で、海外事業への取り組みを行うため人員増加、設備・研究開発の積極的な投資、テスト&ソリューションサービスの設備増強に伴う減価償却費の増加等、今後の成長に不可欠な事業投資を積極的に行うための費用増加を見込んでおります。

以上により、売上高につきましては11,500百万円(前期比5.5%増)、経常利益1,200百万円(前期比13.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益780百万円(前期比17.3%減)を見込んでおります。

なお、業績見通しの前提となる為替レートにつきましては、1ユーロ=121.2円、1バーツ=3.2円、1US\$=111.4円を想定しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

#### (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しており、将来の事業展開と経営体質の強化のために内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続して配当を実施することを基本方針としております。

また、内部留保資金につきましては、開発・製造体制強化のための設備投資や研究開発資金として活用し、経営基盤の強化と、より一層の事業発展のために有効活用して参ります。

以上により、当期の剰余金の配当は、1株につき10円(うち記念配当2円50銭)であり、次期の剰余金の配当は、7円50銭を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当連結会計年度 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,712,457	2,037,713
受取手形及び売掛金	3,251,985	3,448,219
電子記録債権	108,303	84,891
製品	152,641	236,072
仕掛品	1,231,947	1,354,658
原材料	496,767	638,472
繰延税金資産	176,528	148,834
未収消費税等	4,434	54,131
その他	201,344	201,140
貸倒引当金	△12,148	△13,994
流動資産合計	7,324,262	8,190,140
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,172,336	3,221,732
減価償却累計額	△1,269,296	△1,410,665
建物及び構築物 (純額)	1,903,039	1,811,067
機械装置及び運搬具	383,444	525,833
減価償却累計額	△264,093	△304,404
機械装置及び運搬具 (純額)	119,350	221,428
工具、器具及び備品	1,560,774	1,828,472
減価償却累計額	△1,250,073	△1,447,520
工具、器具及び備品 (純額)	310,701	380,952
土地	1,624,965	1,624,965
リース資産	3,888	3,888
減価償却累計額	△842	△1,620
リース資産 (純額)	3,045	2,268
建設仮勘定	19,927	149,195
有形固定資産合計	3,981,029	4,189,877
無形固定資産		
のれん	37,665	348,497
ソフトウェア	30,508	22,911
その他	5,583	5,481
無形固定資産合計	73,757	376,891
投資その他の資産		
投資有価証券	158,609	243,234
繰延税金資産	14,046	12,211
長期預金	36,183	37,655
その他	61,870	66,552
投資その他の資産合計	270,710	359,654
固定資産合計	4,325,496	4,926,422
資産合計	11,649,759	13,116,562

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当連結会計年度 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,508,074	1,620,864
電子記録債務	665,960	805,309
短期借入金	1,515,000	1,570,000
1年内返済予定の長期借入金	387,300	383,528
未払金	261,989	283,126
未払費用	292,435	381,344
未払法人税等	160,434	273,185
未払消費税等	140,307	1,689
製品保証引当金	111,275	114,917
その他	179,213	210,340
流動負債合計	5,221,990	5,644,304
固定負債		
長期借入金	1,038,650	918,283
繰延税金負債	17,894	37,411
長期末払金	192,169	192,169
資産除去債務	43,539	44,762
その他	63,324	283,134
固定負債合計	1,355,578	1,475,761
負債合計	6,577,569	7,120,066
純資産の部		
株主資本		
資本金	464,817	464,817
資本剰余金	557,563	557,563
利益剰余金	4,064,368	4,892,647
自己株式	△110,659	△161,707
株主資本合計	4,976,088	5,753,320
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,352	96,243
為替換算調整勘定	63,748	△743
その他の包括利益累計額合計	96,101	95,500
非支配株主持分	-	147,675
純資産合計	5,072,189	5,996,496
負債純資産合計	11,649,759	13,116,562

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)
売上高	10,374,651	10,898,345
売上原価	6,923,816	7,225,889
売上総利益	3,450,834	3,672,455
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	83,700	74,943
販売手数料	106,781	103,001
製品保証引当金繰入額	111,275	114,917
役員報酬	198,243	205,309
給料及び手当	446,869	494,100
賞与	112,379	107,158
退職給付費用	18,355	18,935
福利厚生費	87,695	88,698
地代家賃	49,160	52,200
賃借料	21,887	25,470
旅費及び交通費	123,695	129,070
減価償却費	51,643	53,428
研究開発費	486,954	511,559
のれん償却額	4,185	15,860
貸倒引当金繰入額	△9,665	1,826
その他	477,624	517,083
販売費及び一般管理費合計	2,370,785	2,513,564
営業利益	1,080,049	1,158,891
営業外収益		
受取利息	525	367
受取配当金	3,602	5,617
為替差益	-	183,410
受取賃貸料	43,065	42,120
セミナー収入	9,015	8,926
雑収入	11,817	16,575
営業外収益合計	68,024	257,016
営業外費用		
支払利息	15,505	15,573
賃貸収入原価	1,619	1,504
セミナー費用	5,471	6,912
為替差損	168,543	-
雑損失	2,038	2,476
営業外費用合計	193,178	26,466
経常利益	954,895	1,389,441
特別損失		
固定資産除却損	3,905	1,046
段階取得に係る差損	-	4,025
特別損失合計	3,905	5,072
税金等調整前当期純利益	950,989	1,384,369
法人税、住民税及び事業税	386,140	419,212
法人税等調整額	△18,295	22,318
法人税等合計	367,844	441,531
当期純利益	583,145	942,838
非支配株主に帰属する当期純利益	-	163
親会社株主に帰属する当期純利益	583,145	942,675

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)
当期純利益	583,145	942,838
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,975	63,891
為替換算調整勘定	57,824	△65,178
その他の包括利益合計	55,848	△1,286
包括利益	638,994	941,551
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	638,994	942,075
非支配株主に係る包括利益	—	△523

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	464,817	557,563	3,587,448	△110,597	4,499,231
当期変動額					
剰余金の配当			△106,225		△106,225
親会社株主に帰属する当期純利益			583,145		583,145
自己株式の取得				△61	△61
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	476,919	△61	476,857
当期末残高	464,817	557,563	4,064,368	△110,659	4,976,088

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	34,327	5,924	40,252	—	4,539,483
当期変動額					
剰余金の配当					△106,225
親会社株主に帰属する当期純利益					583,145
自己株式の取得					△61
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,975	57,824	55,848	—	55,848
当期変動額合計	△1,975	57,824	55,848	—	532,706
当期末残高	32,352	63,748	96,101	—	5,072,189

当連結会計年度(自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計
当期首残高	464,817	557,563	4,064,368	△110,659	4,976,088
当期変動額					
剰余金の配当			△114,395		△114,395
親会社株主に帰属する 当期純利益			942,675		942,675
自己株式の取得				△51,047	△51,047
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	828,279	△51,047	777,231
当期末残高	464,817	557,563	4,892,647	△161,707	5,753,320

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	32,352	63,748	96,101	—	5,072,189
当期変動額					
剰余金の配当					△114,395
親会社株主に帰属する 当期純利益					942,675
自己株式の取得					△51,047
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	63,891	△64,491	△600	147,675	147,075
当期変動額合計	63,891	△64,491	△600	147,675	924,306
当期末残高	96,243	△743	95,500	147,675	5,996,496

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	950,989	1,384,369
減価償却費	337,412	376,976
のれん償却額	4,185	15,860
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9,685	1,845
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	39,275	3,642
受取利息及び受取配当金	△4,127	△5,985
受取賃貸料	△43,065	△42,120
支払利息	15,505	15,573
為替差損益 (△は益)	9,869	△7,295
固定資産除却損	3,905	1,046
売上債権の増減額 (△は増加)	△271,382	56,938
たな卸資産の増減額 (△は増加)	251,177	△235,332
仕入債務の増減額 (△は減少)	△184,230	46,035
その他	194,027	△30,976
小計	1,293,856	1,580,578
利息及び配当金の受取額	4,123	6,000
利息の支払額	△14,532	△15,434
法人税等の支払額	△498,816	△382,432
法人税等の還付額	—	12,537
営業活動によるキャッシュ・フロー	784,631	1,201,250
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△14,860	△15,956
有形固定資産の取得による支出	△571,994	△582,928
有形固定資産の売却による収入	429,519	1,530
無形固定資産の取得による支出	△6,890	△4,963
定期預金の預入による支出	△48,223	△13,507
保険積立金の解約による収入	739	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	41,662	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△120,044
その他	43,268	39,397
投資活動によるキャッシュ・フロー	△126,777	△696,471
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△45,000	55,000
長期借入れによる収入	—	270,000
長期借入金の返済による支出	△412,373	△394,139
リース債務の返済による支出	△2,521	△1,379
自己株式の取得による支出	△61	△51,047
配当金の支払額	△106,128	△114,097
財務活動によるキャッシュ・フロー	△566,084	△235,663
現金及び現金同等物に係る換算差額	△46,648	44,106
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	45,120	313,221
現金及び現金同等物の期首残高	1,399,563	1,444,684
現金及び現金同等物の期末残高	1,444,684	1,757,905

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

連結の範囲に関する事項

すべての子会社を連結しております。

連結子会社の数 11社

主要な連結子会社の名称

日東精機株式会社、株式会社データ・テクノ、株式会社振研、IMV (THAILAND) CO., LTD.、IMV EUROPE LIMITED、IMV America, Inc.、1G DYNAMICS LIMITED

当連結会計年度より、1G DYNAMICS LIMITED及びその連結子会社を株式取得に伴い連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当連結会計年度から適用しております。

(セグメント情報)

当社及び連結子会社の事業は振動に関するシミュレーションシステムの製造・販売及び振動試験の受託並びにメジャリングシステムの製造・販売であり、その事業全てが振動に関する単一事業であるため、セグメント情報は記載しておりません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)
1株当たり純資産額	310円37銭	360円85銭
1株当たり当期純利益金額	35円68銭	58円02銭

(注) 1. 前連結会計年度及び当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)
親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	583,145	942,675
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	583,145	942,675
普通株式の期中平均株式数(株)	16,342,401	16,248,315

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

## (1) 役員の異動

該当事項はありません。

## (2) 生産、受注及び販売の状況

(生産実績)

品目	期別	前連結会計年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)		当連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)		対前期比(%)
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム		7,710,055	76.4	8,177,710	75.7	106.1
テスト&ソリューションサービス		1,429,969	14.2	1,580,019	14.6	110.5
メジャリングシステム		948,055	9.4	1,042,888	9.7	110.0
計		10,088,081	100.0	10,800,618	100.0	107.1

(受注高実績)

品目	期別	前連結会計年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)		当連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)		対前期比(%)
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム		7,929,666	76.3	6,949,844	72.2	87.6
テスト&ソリューションサービス		1,512,395	14.6	1,646,087	17.1	108.8
メジャリングシステム		941,470	9.1	1,030,525	10.7	109.5
計		10,383,532	100.0	9,626,457	100.0	92.7

(受注残高)

品目	期別	前連結会計年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)		当連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)		対前期比(%)
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム		3,648,642	90.8	2,403,662	87.8	65.9
テスト&ソリューションサービス		213,754	5.3	190,050	6.9	88.9
メジャリングシステム		155,715	3.9	143,629	5.2	92.2
計		4,018,112	100.0	2,737,342	100.0	68.1

(販売実績)

品目	期別	前連結会計年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)		当連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)		対前期比(%)
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム		7,996,192	77.0	8,261,349	75.8	103.3
テスト&ソリューションサービス		1,429,023	13.8	1,586,418	14.6	111.0
メジャリングシステム		949,435	9.2	1,050,576	9.6	110.7
計		10,374,651	100.0	10,898,345	100.0	105.0